

平成24年度町民見学会 ～ふらっと札内、テクノカ本部を見学

■問い合わせ先 企画室企画情報担当 TEL【幕】54-6610



▲実際の入居スペースを見学する参加者（ふらっと札内）

町民を対象に、施設見学や史跡巡りなどをし、町への理解を深める「町民見学会」を2月8日（金）に開催し、18人が参加しました。

この日は、社会福祉法人幕別真幸協会が運営する地域密着型介護老人福祉施設「ふらっと札内」と道内最大級のほうれん草の水耕栽培施設「テクノカ本部」を見学しました。

昨年の6月に開設した地域密着型介護老人福祉施設「ふらっと札内」は、介護の必要なお年寄りが住み慣れた地域で、その地域の現状に適した介護サービスを受けられるように



▲お風呂の説明をする成田施設長

新たに設けられた施設で、現在、29人のお年寄りが利用しています。

主な介護サービスは、食事や入浴機能訓練などで、お年寄りが居宅における生活へ復帰できるように、日常生活のサポートをしています。

町民見学会の参加者は、実際にお年寄りが生活する約10畳の居室やテレビを見ながらくつろぐことのできるリビング、お風呂、トイレなどを見学し「素晴らしい環境なので、生活してみたい」や「見学してみても施設のイメージが変わった」などと感想を述べていました。

次にほうれん草の水耕栽培施設「テクノカ本部」を見学しました。

この施設は、敷地面積3・8ヘクタールにガラス温室や育苗設備など



▲施設説明をする大橋代表(テクノカ)

を備えています。栽培システムは水耕栽培の先進地であるオランダの技術を導入し、温室や水の管理はコンピュータで自動制御しています。

栽培には苗のプレートが敷き詰められた升（1・2歳×6歳）が並び、ほうれん草の成長（約20〜25日出荷）に合わせて施設内の収穫場所まで自動で移動する仕組みとなっています。

説明を受けた参加者は「安心して食べられると感じた。早速、買いに行きたい」と話していました。

町では、今回の町民見学会のほか、提案型の町民見学会も実施しています。公区や公区に準ずる団体が、希望する見学先などを町に提案し、担当者と相談して実施するものです。詳しくは問い合わせください。